



# 森ボラ 通信

第41号 2005年10月20日発行  
北海道森林ボランティア協会  
札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

## ■トピックス

### ◆王子特殊紙江別工場見学 05/10/19

10月19日(木)、参加20名。午前には野幌森林公園の作業を行い。早めに昼食を済ませて、当工場のOBである和田さんの案内で、車を連ねて登満別経由で江別工場に入りました。

会議室で工場長代理佐藤氏の挨拶と担当の川村氏より丁寧な説明をうけた後、見学に入りました。原料チップからパルプ工程を経て、コピー用紙やプリンター普通紙を製造するこの工場最大の6号抄紙機とそれの仕上げ工程を見て、対照的な最も古いタイプの8号抄紙機を見せてもらいました。特に8号機はカバーされていないので、ワイヤーパート、プレスパート、ドライヤーパートの仕組みがよく分かりました。先年見学した王子製紙苫小牧工場の新聞用紙製造マシンは世界最大クラス、この工場の特殊紙等製造マシン達は最小に近いクラスなのです。工場全体として廃棄物ゼロ作戦を展開中。リサイクルに努力している様子がよく分かりました。隣接地域に対する余剰エネルギー(熱、電気等)供給に向けて新しい挑戦が始まるとのこと。頑張ってください。

病み上がり(中?)を押して案内していただきました和田さん、ありがとうございました。(高野記)

### ◆宮の森中学校訪問学習受け入れ 05/10/14



中学一年生6人と総合学習の時間に藻岩山活動地と登山路で間伐実習と台風18号被害調査を高野、酒井で行いました。協会の活動状況は紙芝居でべろ飴をなめながら山頂で説明しました。孫と同年で“私達は環境破壊に対しどのような活動をしたら良いでしょうか?”などと難しい質問をされたりしましたが、まじめな子供たちで楽しい時間を過ごしました。私たちほどインパクトのある報告のできるグループはないはずと言っていました。このような啓蒙活動は是非広げたいものです。

なぜこのグループが北海道森林ボランティア協会を総合的な学習の訪問先に選んだのか聞いてみました。今年14号台風がきて学校が休み

になり、昨年の19号台風で木が倒れたことを思い出して森林管理局を訪問先に選び先生に相談したら先生は立派で良く活動しているボランティア団体をインターネットで探し出して薦めてくれた。ほとんどのグループは市の施設を訪問するそうです。来年も選ばれたいものです。(酒井記)

※その日の夜に早速、成田玄樹君からお礼のメールが届きました。「今日はありがとうございました。とても貴重な体験ができたと思います。また今日とは違うことで自然について体験したいと思いました。」

### ◆北海道神宮植樹会 05/10/8

北海道神宮の植樹会が、市民・ボランティア約100名の参加で行われました。まず参加者全員でお祓いを受けた後、「北の森づくりサークル」代表で北海道大学名誉教授の東(ひがし)先生のお話しに耳を傾けました。根っここの大切さと共に、先走りせずみんなでやる事の大切さ、小さなことはつながりあって大きく広がって行くということをエネルギーに語っていただきました。童心に還ってワイワイ楽しくカミネッコづくりをした後、200本のエゾヤマザクラの苗木を植えました。サークル会員で当会会員でもある芝さん、棟方さん、小野寺さん、佐藤さんが会場を忙しく動いており、活躍振りを頼もしく拝見しました。

当日の参加は19名でしたが、事前の植え穴掘りや事後のチップ敷きに多くの会員が協力しました。引き続き苗木の成長を見守りましょう。(柴田記)

### ◆雲上に遊ぶ —富良野岳山行記— 05/9/29-30

メンバー:(L)山中司・(SL)津金和洋・(SL)荒船招利・湯澤利一・杉本則・加治久美子・高野圭子・永田啓子・釣井市朗

## 【9月29日（木） 快晴】

抜けるような秋空の下3台の車に分乗し、12時過ぎに集合場所である富良野のJAスーパー前広場に集合、近くの蕎麦屋で昼食の後、噴煙たなびく主峰十勝岳、美瑛岳、オプタテシケ山、上ホロカメットク山、そして明日目指す富良野岳と色付き始めた山麓と対照的に、雲一つ無い秋空に映える十勝連峰の峰々に歓喜の声を上げながら、ラベンダーの里上富良野町に入る。

Fスーパーで夕食の食材を買い込み、15時ころ今宵の宿である十勝岳温泉郷吹上温泉保養センター「白銀荘」に着く。荷物を部屋に置き、十勝岳の登山口である望岳台周辺の散策に出かける。年に何度も無いような見事に晴れ上がったスカイブルーに、大雪連峰、十勝連峰の峰々の頂きが、己を主張しているかのように空に向かって聳えている眺望にメンバー一同息を飲む。あちこちから感嘆の声が上がり、至福の一時を享受し宿に帰る。

夕食は湯澤シェフが味にこだわり腕を振るい、食卓には山行の食事には似つかわしくない豪華な料理が並び、日頃御台所を預かるご婦人方の労をねぎらい、お客様としてテーブルに着いた面々も美味に感激。夕食後別室で明日の山行のミーティング、山を語り、森を話し夜は更ける。

## 【9月30日（金） 曇り】

5時起床、朝食は昨夜の料理をアレンジ、手際良く山仕度をし、富良野岳の登山口である十勝岳温泉「凌雲閣」上の駐車場に車両を置き、軽い準備運動の後登山開始。天候は曇りであるが、視界は良好で上富良野、美瑛の町々の眺望がくっきりと、雨の心配はない。

紅葉の始まった四方の峰々の名前等をリーダーから説明を受けながら、工事中の安政火口への遊歩道を快適に進み、最初の休憩地である安政火山入口に着き身繕い、足繕いを整え、化け物岩下部の登山道をトラバースしD尾根にでる。ここから若干下り上ホロ分岐に至り、なお下り渋みのある水量の少ない三峰山沢を渡り、ロープ設置の滑りやすい急坂は、立派な木の階段に変わっており安心して歩を進める。

この辺りの紅葉は、いまが盛りと色を競っているが、すでにミヤマナナカマドは葉を落とし冬仕度を始めている。空模様は思わしくなく、富良野岳の稜線は見えたり隠れたり連続で心許無い。徐々に高度を上げて行くが、列から遅れる者もなく、整然と頂き目指し力強い足取りが続く。お花畑あとを越え、しばらく山腹をトラバースして進んだ所に、金属製の手摺のついた木の階段がついており、ここからハイマツ帯を少し進むと視界が開け、富良野岳稜線分岐に出る。

稜線は風が強く、分岐の見晴台で小休止、ここから頂上へはもう一息である。以前の砂礫の滑りやすい道には、木道の階段が高みへと延びており、頂上まで続いているのではないかと錯覚を覚える。木道を越え、左足下に原始ヶ原を望みながら細い登山道を辿る。この頃には雲の流れも速くなり、富良野岳の頂上が顔を出す、最後の急坂を登り頂上に着く。

頂上は風が強いが心地良い風である。岩影で風を避け小食をとり、遠く大雪連峰、富良野岳から続く十勝連峰の大パノラマを満喫し頂上を後にする。

途中安政火山、小さいながらも今にも妖精が出てきそうな三段沼に立寄り、足取りも軽く全員無事下山し、北海道一高所にある凌雲閣温泉の露天風呂で疲れを癒しながらきょうの山行の行程を目で辿り、好天と良いメンバーに恵まれた富良野岳山行にピリオド打ち札幌へと向かう。

完

《コースタイム》

6:40 登山口=7:20 安政火山口=7:40 上ホロ分岐=9:15 富良野岳稜線分岐=9:40 富良野岳頂上=10:30 下山開始=12:10 安政火山入口=13:00 登山口

(記 山中)

## ◆野幌試験植樹 05/9/20



植巾 3M、残巾 7M、植栽列 18列。この春から進めてきた野幌森林公園の地拵えが概ね片付きました。ここで来春、約1,800本の本格植林を行います。今年度はこのうち一畝のみに試験植栽を行い、雪害・獣害等の状況を観察することになりました。この日植栽した樹種はミズナラ・ヤチダモ・カツラ・ハルニレ・ケヤマハンノキ・カンバの6種112本。植栽箇所には神宮に作り置きチップを運び敷き詰めました。ネズミ害については、トウモロコシ原料のネットと、ペットボトルと、ガード無しと3タイプで経過を観察します。協会主体のまとまった規模の植樹は初めての試みです。何かしらの波及効果を生むようなインパクトある植樹会にしたいものです。アイデアのある方はご提案ください。

???宇宙飛行士???

ではありません。右の写真はこの日スズメバチの巣を撤去するために完全武装した湯澤さんです。ダンボールやゴミ袋などを利用した手作りのスタイルです。このいでたちで地拵え作業中発見した巣2個をたちどころに撤去。またまた多芸振りを発揮してくれました。(柴田記)



## ■今月の幹事会

- 11月の活動 11月9日(水)、パソコン教室(年賀状の作り方) エルプラザ 9:00~12:00を北海道神宮と入れ替え。他は変更なし。
  - (社)北海道森と緑の会の団体会員 団体会員として加入。ポスターセッションにも参加
  - 宮の森中学校対応 生徒6名を10月15日藻岩山に案内の予定
  - 王子製紙江別工場見学 13:00~14:00の予定で実施。
  - 野幌届出 エゾシカの食害防止ネットおよび丸太によるベンチ設置等、現地に何か人工的なものを設置する場合は届け出ること。
  - 積丹町訪問 26日10時に訪問の予定(加治(豊)、酒井、高野(豊))
  - 北大「イチイ」苗 約100本、神宮裏に仮植する
  - オイスカ対応 高野 豊が参加
  - 木工 例年通り12月より活動日を月2回とする。
  - パソコン教室 11月から開始。メールの普及を図る。
  - 緊急連絡責任者の地域分担 (別記)
  - 理事会 11月1日 16時~17時 弥生会館
  - 忘年会 (別記)
- 出席幹事:加治(豊)、酒井、柴田、西野(悌)、高野(豊)

## ■お知らせ

### パソコン入門 Part 1 —Wordで作ろう年賀状—

パソコン持っているけど使いこなしてない人、  
持っていないけどどんなものか見てみたい人、  
個性的な年賀状を楽に作ってみたい人、お気軽にご参加ください。年賀状の材料に、これまでの活動写真を多数ご用意します。講師は西野悌三さんです。

【日時】11月9日(水) 午前9時~12時  
【場所】男女共同参画センターOA研修室  
北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内  
Tel (011) 728-1222

※ノートパソコンをお持ちの方はご持参ください。

### 忘年会のお知らせ

日時:12月9日(金)  
場所:シーサイド余別(積丹町余別)  
会費:9,000円  
※送迎バス利用

### 「道民森づくりネットワークの集い」 ポスターセッションに出展

森に関わる人の祭典が今年も開催されます。当会はポスターセッションに3回目の出展。今年のポスターは西野さんが担当します。

【日時】11月5日(土) 10:00~17:00  
【会場】北海道庁 赤れんが前庭

#### ポスターセッション広場

森に関わる様々な団体の活動紹介  
10:00~15:00/赤れんが庁舎第1・第2会議室

#### 森のテント村

ツリークライミングやチェーンソーアートなどの体験  
10:00~15:00/赤れんが前庭

#### 車座パネルディスカッション

14:00~17:00/赤れんが庁舎第1会議室



## ★緊急の際の連絡体制について

緊急の際の連絡不備が指摘されていまして、以下のような体制を組みました。活動場所や時間の変更・活動中止などの際は、各幹事が担当地区の参加申請者に連絡します。参加申請の無い方には連絡しませんので、参加申込書は毎月末までに必ず提出してください。また、申請内容が変更になった場合は高野さんにご連絡ください。

- ┆ 高野（豊平区・白石区・）
- ┆ 加治（清田区・厚別区・江別市）
- ┆ 西野（北区・東区）
- ┆ 酒井（中央区・南区）
- ┆ 柴田（西区・手稲区）

## ■活動履歴

《活動日》	《活動場所》	《参加人数》	《活動内容》
10/19	野幌森林公園	25	植樹メンテ、王子特殊紙江別工場見学
10/17	藻岩国有林	17	間伐
10/13	北海道神宮	15	製材、植栽樹メンテ
10/8	北海道神宮	19	講演会、エゾヤマザクラ植栽
10/6	藻岩国有林	14	間伐
10/5	澄川市有林	10	集材、キノコメンテ
10/3	リンケージプラザ	26	会員例会
10/1	藻岩国有林	3	降雨のため軽作業
9/30	北海道神宮	7	植栽穴堀り
9/28	澄川市有林	11	キノコメンテナンス他
9/27	藻岩国有林	12	間伐方法説明、作業道整備
9/26	杉本邸	12	木工
9/22	西野第二	4	ニセアカシヤ萌芽刈り取り
9/20	野幌森林公園	17	植樹1列、獣食害防止処置
【今月のリンゴ園】 9/22、24、30、10/7、8、11、12、13 参加人数 5、10、9、12、1、1、6、6			

## ■コラム

### 活動資金の調達

“NGO”といっても霞を食って生きているわけではありません。安定的な活動資金の調達を他の団体はどのように得ているのでしょうか。財団法人国際緑化推進センターの発行誌「緑の地球」からの抜粋です。当協会もやっているものもありますが、面白そうなもの皆で考えてください。ここに掲載する理由は積丹を順繰り訪問しカボチャを栽培し販売する案を提案しようとしていたら、長野県須坂市のNGO「にっぽんこどものじゃんぐる」が既にジャガイモを販売していました。（酒井記）

●ベルマーク ●書き損じハガキ ●企業からの寄付 ●オンライン寄付サイト ●使用済み切手 ●未投函官製ハガキ ●クリスマス募金キャンペーン ●祝儀や香典返し ●通信販売からの収益 ●募金箱設置 ●植林支援 ●ツアー参加費の一部 ●不要書籍の回収 ●物品販売携帯ストラップ石鹸 ●スーパーなどで募金箱設置 ●アルミ缶の回収 ●ジャガイモを栽培して販売 ●木製玩具販売 1 割寄付してもらおう ●木の里親募金 ●カレンダーの販売 ●講演依頼の受け入れ ●オリジナルグッズの販売

## ■ひとこま

### ツチアケビ

7月頃だったでしょうか。神宮の苗畑入口付近の草の中に、見たこともない花を見つけました。形状からラン科の植物であることだけにはわかりました。その後9月のある活動日に再び目にしたそれは、花の時期とは全く違っており、あまりの異形にぎょっとしました。前地さんがこの植物の正体を教えてくれました。

名前は「ツチアケビ」。なるほど、あけびのよです。ランの仲間で、ナラタケと共生関係にある多年草の腐生植物（葉緑素が無い植物）。古くから民間療法では名前の知られた薬草で、婦人病、膀胱炎、新陳代謝の促進、疲労回復、強精、健胃、利尿、高血圧予防などなどに効用ありと言われていたようです。神宮参加の方必見です。（柴田記）

※花の写真は前地さん、実の写真は木戸さんの作品です。



うなバナナのような形